

ブルタバ (モルダウ)

連作交響詩「わが祖国」から

スメタナ作曲

教科書 p 32 ~ 33

スメタナ ベドルジフ スメタナ
Bedřich Smetana (1824~1884)



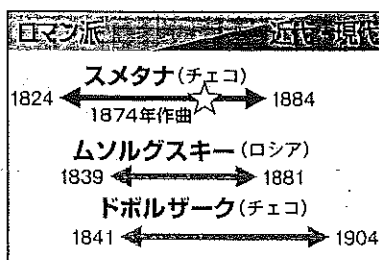
チェコの小都市リトミシュルに生まれました。19歳のとき、首都プラハへ出て音楽の勉強にはげみ、指揮者、作曲家として活躍しました。42歳のころ、母国語のオペラや劇を上演するための国民劇場(仮劇場)のために、オペラ「売られた花嫁」を作曲し、上演は大成功をおさめました。50歳ごろ、耳の病が悪化しますが、その後も「我が祖国」などの名曲を作曲し、「チェコ国民音楽の父」とたたえられています。

曲の背景

当時のチェコはオーストリアの厳しい支配下にありました。連作交響詩「我が祖国」は、チェコの美しい自然と伝説をもとに、祖国を愛する気持ちを音楽で表そうと作曲されたものです。6曲からなり、「ブルタバ」はその第2番目の曲です。ブルタバ川は、ボヘミア(チェコ)の森から流れ出し、プラハの街をつらぬき、エルベ川を経て北海へと流れていきます。その堂々たる姿は民族の誇りとなっています。ブルタバ川はドイツ語ではモルダウ川と呼ばれます。

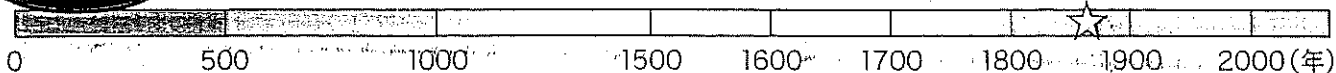


いっどこで?



キーワード

国民楽派……19世紀後半から20世紀にかけて、自分たちの国や民族に誇りを持ち、自国の文化や自然・伝説などを音楽に取り入れて作った作曲家たちをいいます。スメタナのほか、ムソルグスキー、ドボルザーク、シベリウスなどがいます。



♪ 曲についてまとめよう ♪

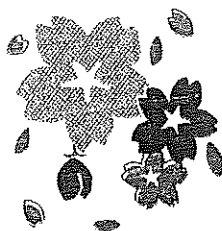
曲 名		演奏形態	
作 曲 者		国 名	

交響詩について、()にあてはまることばを書こう。

物語や()などを()によって表現する音楽のこと。

3 年 組 番 名 前

花



武島羽衣

作詞

滝廉太郎

作曲

武島 羽衣 たけしま はごろも (1872~1967)

東京に生まれました。宮内庁で和歌に関する仕事に就いたほか、日本女子大学、東京音楽学校などの教授を務めました。

歌の背景

明治時代に初めて日本に西洋音楽が輸入され、音楽教育にも盛んに取り入れられるようになりました。明治12年に生まれた滝廉太郎は、日本での西洋音楽の原点ともいえる作品を生み出しました。1900年に発表された組歌「四季」は「花」「納涼」「月」「雪」の4曲で構成され、「花」はその第1曲です。隅田川の情景や人々の暮らしが、はなやかで美しい旋律で表現されています。



歌詞の大意

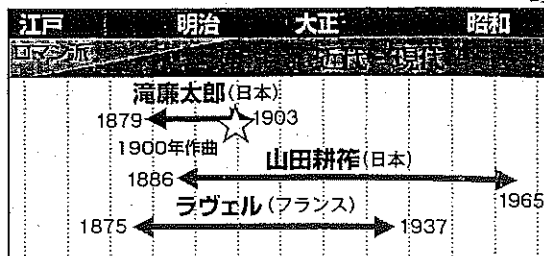
1. 春の柔らかな日の光が照る隅田川、
上ったり下ったりする舟人の
權についたしずくも
まるで花のように散る、
この眺めを一体何にたとえたら
よいのだろうか。
2. 朝の露を宿し、
まるで私に話しかけてくるように
輝く桜の木々を見てごらん。
夕暮れ、まるで私を手招きするように
ゆれる青々とした柳を見てごらん。
3. 桜が立ち並び、
美しい織物のように見える長い堤防に、
日が暮れるとおぼろ月がのぼってくる。
ほんとうにひとときささえとも価値のある
この眺めを一体何にたとえたら
よいのだろうか。

ピアニストだった滝 廉太郎

滝 廉太郎(1879~1903)は、東京音楽学校(現在の東京芸術大学)で音楽を学び、ピアニストとしてデビューしました。その後、母校で後進の指導にあたりながら、作曲活動を始めます。「箱根八里」「荒城の月」「花」などの多くの唱歌や歌曲を留学前

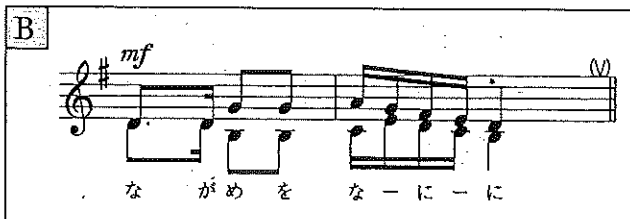
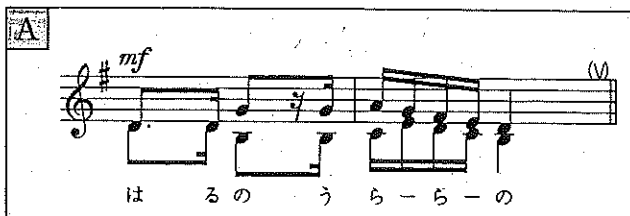
滝 廉太郎 たきれんたろう (1879~1903)

東京に生まれました。音楽家になることを父に反対されますが、15歳のときに許しをもらい東京音楽学校へ入学しました。作曲家として活動したのは、23歳で亡くなるまでのわずか3~4年の間ですが、ロマン派風のすぐれた作品を多く残しました。代表作…組歌「四季」「箱根八里」「はとぼっぼ」「お正月」「荒城の月」など。



歌い方の工夫

AとBのリズムのちがいを感じ取り、しっかりと歌い分けよう。休符が入ったリズムでは、言葉の区切りに注意して歌おう。



に作曲しました。

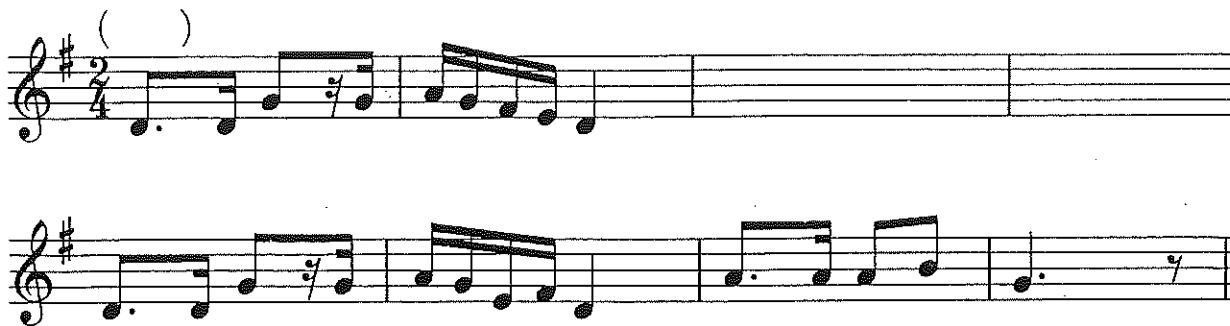
彼は、1901年にドイツのライプツィヒへ留学しますが、そこで病にかかり翌年には帰国の途につきます。帰国後は郷里で療養を続けますが、23歳の若さで亡くなりました。晩年のピアノ曲には「憾」とタイトルがつけられ、志半ばで倒れた彼の思いが感じられる作品です。



花

教科書 p.4~7

① 次の楽譜は曲の最初の部分です。各問いに答えよう。



- (1) この曲の作詞者の名前を書こう。 ()
- (2) この曲の作曲者の名前を書こう。 ()
- (3) 空いた小節に入る旋律を書き入れよう。
- (4) この曲の1番の強弱記号を、楽譜にある()の中に入力しよう。
- (5) この曲を歌う速さは、次のうちどれがよいか正しいものの記号を○で囲もう。
 ア. ♩ = 60~66 イ. ♩ = 80~88 ウ. ♩ = 112~120
- (6) この曲の作曲者が作った曲を次の中から選んで、記号に○をつけよう。
 ア. 「夏の思い出」 イ. 「浜辺の歌」 ウ. 「荒城の月」
- (7) 1番の歌詞のおよその意味を書いてみよう。

()

② この曲に使われている音符、休符、速度などの記号の名前を答えよう。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| (1) ♩ () | (2) ♪ () |
| (3) 7 () | (4) ♩ () |
| (5) 〰 () | (6) <i>rit.</i> () |
| (7) <i>a tempo</i> () | (8) <i>p</i> () |

③ この曲は、1番と、2番、3番のメロディーが少し違っているところがあります。()に違っている部分のことは書き出してみよう。

- | | |
|----------|----------|
| [2番] () | [3番] () |
| | () |
| | () |

④ この曲からどんな情景が思いつくか自由に書いてみよう。

()

